有北部方面廿日一廿六日 有方面廿日一廿六日 一十十六日 一十十六日 一十十六日

一十萬包圍殲滅

政府、協和會職員の

育成訓練機關を統合

人事交流に官制一部改正

だ官制改正の運びに だ官制改正の運じを繰るとと だ官制改正の運じを繰るとと

江南作戦の

左の諸事項について協

府代表との間にドイツ、オ 日ハーグにおいてドイツ政 関通』オランダ政府は廿六

ある

た旨發表した

三百名歸順 山東省保衛軍

にローマ廿六日 (ローマ廿六日 (ローマ廿六日 (日本) で (1) で (1)

聖戦の眞意義

を徹底せしむ

及ぼす影響は火を賭るよ りも明かなところであり 特用作物に對する收買債 特の引上げは最早や確定 のものと見られるに至

「海南廿六日發図通」山東 省保衛第廿四師獨立第三營 長李肉枕以下三百名は廿三 日午前十一時黄集に歸順を 日

いては現在

日滿軍警慰問

呂產業部大臣一行北安へ

り今回の食用農産物の引 地質のよれ特産計畫に一大支 での現狀から本年度は特に であり特に棉 であり特に棉 であり特に棉 であり特に棉 であり特に棉 であり特に棉 であり特に棉 であり特に棉

回の引上價格との均衡が基 回の引上價格との均衡が基

ある薬煙草は

下御訪 回籌備委員會を開催

內務處長、總務廳灣田次 局宮、府水長、委員宮內 府小原總務處長、荒井顧 府小原總務處長、荒井顧 使能拿事官、治安部遊谷 何調查處長、野田駐日大 「阿謝查處長、野田駐日大 長、武藤弘報處長、菅參 長、武藤弘報處長、菅參

官邸において開催

新製價格の

農務主管科長會議

獨蘭新通商

の作成に着手、近く所定のの作成に着手、近く所定のの作成に着手、近く所定のの作成に着手、近く所定ののでなった。この結果各省縣が発達を経て資施することになった不動産登録が行はれることになる譯でが行はれることになる譯で

交涉開始

ウエルズ次官

ム首相會談

設行所

東京本語的2) 東京本語的2 東京本語的語的2 東京本語的2 東京本語的語語的語的2 東京本語的2 東京本語的語語的2 東京本語的語語的語語的2 東京本語

49 68

日

戦線

に

暗影

新政府樹立の光明へ希望

抗

本 大部殿八十五師の幹部級に は最近反卖意識が盛んに起りつうちる所へ注精衛氏の りつうちる所へ注精衛氏の 切り、急激に抗日の前途に 対り、急激に抗日の前途に

望む自る行にわ時新亡し一のことでは、せばれ日政は、家ともそれりわの権す一のことをあるが、別の権は一のでいた。 クセルシオ 1ル・ホテルに 入つた、チアノ外相は午後 九時半宿舎にウエルズ使節 を公式に訪問して約十分間 を公式に訪問して約十分間 なサ六日午前はチアノ外相

タ刻ローマに到前、富舎ロエルズ米國務文官は廿五日 ウ次官羅馬着

また信養城縣長朱政権も次の如ぎ悲観論を吐いてゐる

支那を背負って起つ三巨頭は青島

活に令官交

敵最前の要衝

羅山河南省を確保

如意所如ちず陷せた

駐滿伊公使

一氏(營口土木局官

▲興津時馬氏 (熱河纀山蓮 役)同 高田秀利氏 (補鐵社員)

發

獨逸の斧が英のシ

い募兵成績 知識層の志願激増

り、所謂極貧層のものが とてゐる が、今年の緊張ぶりは實 が、今年の緊張ぶりは實 が、今年の緊張ぶりは實

にインテリ層出身が激者 したことは心強い限りで したことは心強い限りで 一等、殊に青調出身者が二 一等ながで中壁として立 一般をみせてゐてく がためは縦るしかつた、

上思縣城包圍

を充分選抜する事が出来 たわけで最後の募兵と たわけで最後の募兵と たわけで最後の募兵と

信陽前面の敵陣を猛襲撃破

るが、これが具體的現れ 今回の引上げにより意方面に反響を呼び起して つた 及ぶ大幅引上げの影響は 各方面の注目を惹くにい要農産物に對する約二割 が特用作物を中心に護頭要農産物に對する約二割 が特用作物を中心に護頭

置行車側見等し栄 、る持り にしを立地特との洋たし農 基 、かのよ用い收解め計産

のであ 登録事務の統合を圖るためであ 登録事務の統合を圖るため の一元化と相俟つて從來二一次的指揮系統にある不動産 事務を

通り廿七日の定例閣議は午東京國

子だらう

軍に信ぜられんのも没法

所分よ 関し總海應主計處高柳特別 の第二 る説明、事業用物資供給に のでは、事業用物資供給に

機結果を報告要談を選げた 践結果を報告要談を選げた でムレリーニ首相に對し會 でムレリーニ首相に對し會 米伊通商協定 近く交渉を開始か

金

五〇

老に歌あり「僕の本

市場に不正あり、その被害者はわれら市民なんだか で策動する。「共口係がココミンテルンがまた支那 の川参に曾大頭旦 九八日

一任會議 關係部局意見一致 職者との意見の一致を見る ならびに税務局と折衝、司 法所管業務の一部の移管に ついて協議中のところ大體

任地政局副局長 《三 有一日附》 古林省理事官 古林省理事官 答二十七日左の如く發令國務院辭令 國務院

を聞くこと」なつた

の日く

た作社の問題、完全に解 決したといよ、果してさう

河香市大星市 川 常住川倉 川 佐正千 玲春 正午開



匪首楊殪る

東邊

に

3

害の中には、

機を語る四谷部隊員

一挺拳銃手に

を空への関心を忘れること ・ を空への関心を忘れること ・ の日常生活から一瞬たりと の日常生活から一瞬たりと

(=)



同の販重なる看視網をくぐ「常質質者、吸飲者取締りにおって、物質質者、吸飲者取締りにおっていまれた常の、 新 Zh 断禁。更に强 看

高級事門警察官を新設する ・ 一看観事門警察官を新設する ・ 一看のため特に同片 ・ 一番のため特に同片 ・ 一番のためものにある。

く奬學資

金制

援倉重なる

三月十日

行事

國兵法並に軍事接護、優遇 國兵法並に軍事接護、優遇 同志名譽の日滿軍人造家族 にうれしい獎學資金の給與 にうれしい獎學資金の給與 にうれしい獎學資金の給與 にうれし、減州軍人 後援會では本年度新規事業 をとしてこれを計畫、既に独

弟と古林、奉天、哈羅の遺家族並に傷痍軍人

ばかりでなく満洲文化の向 で、單に銃後の駅めとなる で、單に銃後の駅めとなる

wittaものとして歌迎さいかりでなく満州文化の向いかりでなく満州文化の向

に向けて多数の國族を贈品

生活程度に準じて適當な、そ

☆三月九日 講演と映畫の

△三月十日 陸軍記念日率 告祭=午前八時州分新京 神社

極的活動を開始した

上参加部隊會員 前十一時四十分、新京油前十一時四十分、新京油前十一時四十分、新大 前東大、日富殿被從立 高各分會、率久縣、青 一會各分會、本久縣、 一等四十分、新京油 一等四十分、新京油 一等四十分、新京油 一等四十分、新京油 一等四十分、新京油 一等四十分、新京油

三時電域子記念碑前
三時電域子記念碑前
一三時電域子記念碑前 四場、紅白團體試合學校、統劍術選手四學校、統劍術選手四

△ △ △ △ 1日日自忠時講 トか憲律鑑、演

一日まで各デバー日まで各デバーの場合である。 一日まで各デバーの場合で各デバーの場合である。 一日まで各デバーの場合で各デバーの場合である。 一日まで各デバーの場合である。 一日までもの場合である。 一日までもの場合である。 一日までもの場合である。 一日までもの場合である。 一日までもの場合である。 一日までもの場合である。 一日までもの場合である。 一日までもの場合でものまた。 一日までものまた。 一日をのまた。 れて

3

新州軍人後援會では二月、 心月に亘つて多數除除する 心月に亘つて多數除除する 管區へ國旗贈呈

乾煙点機中古力 とう売買 金玉圃を提供一先づ髪がつ いたが兩名更に「俺の家ま で送れ」と張要してゐる新 に人足が近づいたので薫い に人足が近づいたので薫い

の手を延ばしてみる 地訛があつたと云ふ被害 地訛があつたと云ふ被害

満洲國から

震震态

靜岡市救恤

精神を保持せしめ之等除除 東を通じて滿洲軍人後援會 が乗目を洗く國民一般に周 が乗しめて来るべき徴兵制 度實施の完璧を側面より援

思邦日本の静岡地方大火災 に對し滿洲國政府では日滿 一如の精神から見舞金を贈 ること」なり、十六日の國 後興資金の一部として第二 復興資金の一部として第二 造備金中から金五萬圓を贈 ること」なつた

春を刻む

年の春も順調な足並でやつ一ヶ月も早いと云はれた今

西

本租金役員 山 村四七馬路西二區八番地

造

京特別市營商同業組合代表

桃源路二〇九

く斷行

- 国都では午前六時の氣温 零下十四度三分、サヤー 最低零下十二度三分、サヤー 三度六分も上昇してをり、やはり水銀柱は正直に春末るを物語つてゐる、例によって中央觀象臺に満洲の春を伺へば 日國都では午前では ・こうもや多への逆行かと ・こうもや多への逆行かと ンバイル嵐の西風 たもや多への ル嵐の西風が吹き始 がとみえたが、廿七 告示第一號 昭和十五年三月一日ヨリ同年四月末日迄ノ間賞標領 事館教務時間左ノ通賞施ス の機能

では人物識見、動務、 機等人格そのものに重 が置かれてゐるのは重

もつて眞の王道教育を具現 育の振興に積極的に采出し 教育制度の一大改革を斷行 と教職員の身分確立を圖り

って實施された教職員の信 連され、教育年次計畫遂行 上この教職員の待遇改善は 従來兎角文教の重要性を無 後來兎角文教の重要性を無

司では初等教育施設擴充年の叙述を議成し人心安定作の知識を議成し人心安定作

いり昨一豫一の備改 が平年人定青許音 本均七當でにさ金は

な員の脱版産業轉出を防止 教員の脱版産業轉出を防止

昭和十五年二月二十七日石出一八三年 (》但土曜日八正午十二時閉應) 午前九時 (閉應)午後四時 在新京總領事 浦

武 美

目科業營 備上新 其他材料一 數疊 疊表 表床替

新京橋町三丁日十 見玉畳商店

蝶屋洗布所本店 金集 H

光輝ある組元二千六百年の 意義深き第三十五回陸軍記 高美深き第三十五回陸軍記 部に於て計畫中であつたが 単程最後案の決定を見たの 世程日午後一時十分から

滑空教官の養成や 大陸の護り、 大空へ の新指

防衛展の開催 空務協會新事業決 3

空務協會は空への関心を常 識化するため本年度事業計 識につき過数来調査研究を きプランを決定した きプランを決定した で、即ち先づ第一に航空研究を を清空教官並に滑空機製 を指導の尖兵養成の要素な を指導を表するため はするに 対容要素を を表表を を表表を

請書を取纏め中で

しき向上を見ることにな は今年一月から實施した は今年一月から實施した は今年一月から實施した

十日から第二回の採用に別 を日本各縣毎に施行することになつたが、採用定員は 五百十名で三月中旬から係

日

官にも

建國の佳節にあげる

滿系青年

がかった

の選手が覇を競び、同 の選手が覇を競び、同

龍風號廣東着

道館生徒募集

に伴ふ治安部警務司の日系 警察機稱の全面的整備機充

佐々木副總裁 は二十八日午後九時四十 は二十八日午後九時四十 が開始。

十五年

す(廿八日)

會首都本部午前十一時軍記念日部內打合 協

の恐怖

去らず

日系警察官

龍風紫

は依然として網増の傾 種痘必ず受けよ

完病患者入院数は

▲大陸科學院會合 同午後 一時より 一時より 一時より

四名マ暦 一名マ痘 一名マ痘 一名マデファンス 一名マデファンス 一名マデファンス

で除く六十二名は邦一名

0

に申し立てたので驚いた派に申し立てたので驚いた派 世界員は本郷に連絡すると 共に全市に手配、一方所轄 者二道河子和順八條胡同三 本居住文満山(三六)に對 000字晚6枚注 作草。

階五迄日三月三

一、事務所又は店舗向き 年数二五年一、同地下室倉庫 年数三五年一、同地下室倉庫 年数三五年一、同地下室倉庫 年数三五年 西山運動具店

太 電話 ここれびる 名

曹祉の令護社長の鼻つばしらを叩きむとっけられた許橋を嫌つて家出した音伝を強い、 東尾純、田島展夫等質塚ショウである、江戸川剛子と立松是の共演、変尾純、東尾純、田島展夫等質塚ショウをの提供を受ける。



| 下間関連 | 得意の咽喉で | 大陸慰問へ | 大陸慰問へ

日活製作の『人間とはどん なものか』『筋肉』の二本 は東和商事のレバトリーに も加はる事となつた、この 日活と東和商事の提携に示 された文化映畫の交流配給

る子子郎

伊賀山正徳

國境勇士慰問

電々懸案愈よ實現

ことになつてゐる 部隊を巡回、爆笑

ē

(兩社の交渉進捗中でま全系統館に配給されるで上映に際しては、全機のなほ來る七月の全機指的なはるべき。 さくら餅は

菊太郎が六代目直傳の

踊り

0

名調に乗せて描く

演主 郎太菊上尾

今夕七時 協和會館で

交流配給 日活東和商事提携

治

河

ホテ 電 6016 6017





春は朗らか

踊れ朗らかに!!

乗っ

皆樣 望 ラクショシ3三日出魔美月二日 目見得 す!!

最後の突撃命令下る 神は、土と兵隊で血が恐怖する日本軍の突 日本 國民の映 「鯨捕」篇楽満

日

日迄

圓



へ上るだけのことだられ、「との船の中だっ」と、この船の中だった。

満を跳なく、身動きする 海に北痛さを加へてくる。 海に北痛さを加へてくる。 洗石に、林毫のみだれもな く、言葉短く、だが、千萬 で

歌痛な音融のうちに、血

らと、勇の顔を見たが

被服に、仙豪平の袴をつけ、白足袋に、白緒の草履ほとんど生色を失つてゐるほどな悄搾した面貌―― 誰もが、勇の参列は強期 してゐなかつただけに、憲 かなものが、舞々と感じる

を水準にするので

液は鬱かだが、舷側を洗

告別式なのです」

が出来ました

くと、若い松波の顔が、原

まれて白布に包まれ、豪の上に安置されて白布に包まれ、豪の心づくしの香業…。 心づくしの香業…。 世にも悲痛な水毒の體だ。 満座寂として咳の離だにない。 哲くすると、勇が、歳三哲くすると、勇が、歳三哲くすると、勇が、歳三百長だッ、局長だッ、局長だッ」 『お、局長!』

近

勇

商况醋

B

空

八州事訴訟顧問及鑑定 以刑事訴訟顧問及鑑定

海外經濟電報

大物 二〇片一六分五 二〇片一六分五 三五非〇〇〇 三五非〇〇〇

2111111

権本和東守武揚も参列をす 悪府水軍の總裁であつた 悪府水軍の總裁であつた の死骸が大浦圏でく

名を呼んでゐたのですから こよろとぶでせら、山崎の こよろとぶでせら、山崎の と、勇が、云ひ切つた。 男の肩が、こまかいかたまりが胸を使いかたまりが胸を使いた。 は、大砲の無ない、は、大砲の無が、大い麻縄が、大地の無が、大砲の無が、

光石

品市况

爺

般外科

蒸医院

エノ

豈 楽 馴 場

說言太關記

水遇廿八日封切

胸を塞いでる こまかくふる

12,00 3,10 6,0 12,20 3,30 6,50 1,45 5,00 8,20 10,00

爺 三 重 奏 ケンの彌次喜多

開放五十セン

と、一語。そして、『山崎君!』 『近藤勇は君を送る… めて

2.09 4.55 7.52

廿七日より廿九日まで 料金五十銭均一

8,00 9,24 10,28

目種業營

-

英體預中產公費

条金小菜共通

次週一日封切 若い力 怨術息子 大江戸リッムボーイズ

1,53 4,52

6,24

料金一圓

11.00 2,00 5,00

家庭の旅出治と頭織

12'24 3,24

後篇 12 55 3.51 6.37 9 34

(旧 曜 水)

『行かう、拥者も参列しよ 勇性、考へてゐたが、

人引取所引取弄証洲滿 BIB ルビ製大街大局大京新たの九六・ハハーニの話電

商

都大学

1,48 4,35 7,20

2,00 4,45 7,83

最後の一兵主で 12,25 3,12 5,07 8,45

次週廿九日より 大辻司郎實演

廿二日より廿八日まで 料金一圓



EO

唄ふトクさん 2,00 4,54 日本の明三部曲 2,31 5,25 12,00 2,54 5,48

場期

野町公設小賣市場

野菜廉賣

賣

廣

告

九日まで

品名

通馬人白吉

牛玉

蒡(1斤)十八錢

三月一日より 突撃はこれからた

7,48 京丰本 8,19 8 42 1,16 二十二日より 廿七日まで 70銭

8,18 電料 泣き笑ひの天國 12,35 3,09 5,53 = - ス 1,33 4,06 7,52 お江戸奴侍 1,43 4,36 6,50 9,10 10,10 廿七日より廿九日まで 料金40錢

THE LITE



ヤ街電3四七四三

戦物に食し 保存に耐へ前化的 があるため、おく

0

新京食糧 (CF)十四錢 大(CF)十四錢 大(CF)十四錢

50 胎

株式會社

沃 土 萬 里



新京朝





本 滿 新 京 路出張所 同

分工場 京 西五馬

古本買入新智職を見入 嚴松堂古典部 東一條通一 报替口座 新京 話 七〇 七〇

高 新京祝町寺目 南廣境與張城 南品祭の費買女子精々御利用くらい 電話③二六四四番



光彩陸郷た

陸軍機常

侍從武官を御差遣せらる

に畏き極みにて、全滿將 た在天の英鬘もまたその 兵 7 向感奮 一死報國の決 遺族も此の宏大無過の聖 兵 7 向感奮 一死報國の決 遺族も此の宏大無過の聖

決意新たにす

の如し (窓賃は (上) 養別 等中將 (下) 岡田少將) 陸軍中將暫藏等久雄、 地震中將暫藏等久雄、

敍位御沙汰

貴族院豫算總會

憶起草を終了したので、 は暫行民籍法制定の必要を るに鑑みぞの草案の起草を 急ぎつつあつた所この程す

生抜きの荒鷺

後軍中佐 從六位勳五等 陸軍中佐 從六位勳五等 陸軍中佐 從六位勳五等

組自體の登

中に産組に對し買收中止合

病気を治し被労を恢復する 庭·空地利用。野菜藥草類。 物の大事を映びする水特

として國内各黨各派の團結 の中央政府に對する對應策 の中央政府に對する對應策

重慶政権

に数粉會社對指定收買人、に数粉會社對指定收買人、既定する利難の歸屬を如何に決定するかにかゝり、既

受機しを行び、條件体の場となる純理論を以てすれば飥よる純理論を以てすれば飥 満農林科長會議においても 題は廿七日新京に開催の全 題は廿七日新京に開催の全 『價格どの差額配分

が科長會議でも論議

部 事は劉慮の程拜察するだが り月に亘り選定せられた

特長には御品を、又傷病 が表には神に御菓子を 下賜せられました、今 下賜せられました、今 で場では特に御菓子を がある。 で関係のある。 で見ができる。 できる。 できる。

具族院に提出

ついで羽田武嗣郡氏(政中) より質疑あつて委員附託と 上六時卅分散會した

事法典委員會を開催して 兵法施行の根幹をなす新 民籍法を正式に決定する ととなつた

農相言明

種審議を行つたが、近く

英獨佛

ウエルズ次官ご會見

農產物價引上影響深刻 の始んどない今議會では先 が唯一のものとも言ふべき 社會立法で、厚生省の虎の 子法案でその具體的論議の

との意見が張硬に主張されて来たが 農、糧機の手にあり、實際 農、糧機の手にあり、實際 関題として多くの困難を含 んでゐるのみならず對農村 政治問題として重要性を持 つのでこれが解決方策の決 定は多大の反響を喚び起す

介石に對し極力反共の動をしてをり今回の脱出るが兩名の言を容れぬために意を決して最後の途をに意を決して最後の途をがある。

多議府會議 多

、直ちに日本会議は午

十後一時十分閉口程に入り

衆議院本會議

ム首相、ウ特使 兩會合は頗る注

改鐵道補助法中

渡問題意見一致

し何瀬

季石曾重慶を脱出

英國空軍の新館

偵察機の編

反共勸告容れ

比様の加く特殊會計生必理事長

英大使、谷次宫會談

ことは言ふまで あつて、いはゆる ふものの重要性を立 かのの民族が では幾つもの民族が

進滿洲

國の化學工業紹介

歌 の發表、論文の検討を行ふ が、去る一月十日締切まで に提出された論文だけでも に提出された論文だけでも でその中には初期の繪卷物 でに見られる住宅建築(建築 で工學の部)、白色猛光體の 合成研究(通信工學の部) 合成研究(通信工學の部) 会成研究(通信工學の部)

が業者の自主的協力に一環度では統制法制定の

する雅定で、わが工業界の もので従来の参加者七千名 に比し更に一千名を増加し に外上の本事門家が會同 が八千名の各事門家が會同

するは「本社になる」、 本文は本社に於り、原稿は「新洲建國當初より今世國功勞者(民族別を問はず)の事建國功勞者(民族別を問はず)の事建國功勞者(民族別を問はず)の事

、審査

發表 如切

四月中(木紙占

三月末日

つて競表) な間舎に於て経復す(右については追を置き同會に於て経復す(右については追

一等一篇二百

應募原稿は四百字詰二十枚興をなるべく添附すること興をなるべく添附すること

二等

滿鐵社員會

新幹事長

木村氏內定

日新聞社宛と

は一切返却せず、著作権は本社に歸属し原稿

各聯合會の推應打合の結果を消儀社員の継道を代表す

面 記南山系一帶の敵約廿萬を 村田の各部殿に相呼應し前 を村田の各部殿に相呼應し前 を村田の各部殿に相呼應し前 を村田の各部殿に相呼應し前 を村田の各部殿に相呼應し前 を村田の各部殿に相呼應し前 を持して三州山 田、前川、野田、鈴田各部 歴史へ寛に廿二日池 れに潰滅的大打撃を與へ向 を占領し敵六十三師及江南 を持て三州山 田、前川、野田、鈴田各部 挺進躁強常備験を粉砕せり

民生 省、市別協定については依然争奪 の時期にあつては依然争奪 を強 労働統制に當つての張固な が實現するものと見られる 等 あり四月迄にはその具體化 が實現するものと見られる 等 あり四月迄にはその具體化 が實現するものと見られる であっては依然争奪 のであっては依然争奪 のであっては依然争奪 のであっては依然争奪 のであってはない。 であってはない。 であっていては依然争奪 のであってはない。 であっての張固な が質現するものと見られる 回 本工 上業

大豆粕の野鷹する肥料供給如何は骨脚連する肥料供給如何は骨に 保保 に

然しこれによつて満洲國の が結局十九圓に落着いた、 が結局十九圓に落着いた、

不萬ピタルとしてその品が 別数量並に輸入價格の正 が側に於て支那市場に於 で輸入採算たる自百斤三 の輸入採算たる自百斤三

到 I M·00 石炭液化工場

四神戸製鋼二百萬圏)はド百萬圏=満洲國政府四百萬

豚肉で一年 **神地方から移入してゐるが**

行本として刊行することとした。本企業の無旨に雙別項規定により隱れたる建園功勢者の實話讃物を公あつては甚だ遺憾であるとせねばならぬ。本社は弦も過ぎてゐるものも多々あるであらう。かゝる功業も過ぎてゐるもの

本企畫の趣旨に養

業に粉骨碎身せる先人の業績を偲び以て將來のたかしい紀元二千六百年に際會し業き契りに同慶の態よ隴昌、民族協和の美しき展開の中に諸般の建

場は駅に到着してをり蒸溜 機は風根工場の完成後建設 場は気根工場の実施を完成し であり液相試験工 場の工場設備を完成し であり液相試験工

くるすに快速を連請き跡を振るハリよ口

以前安藤井筒堂 藥品鄉京市日本楊正水美宮鄉

世界の名香

Dath Cott

向動の後今

すが故に軽々しく すが故に軽々しく すが故に軽々しく ですが如き を下すが如き な深 謎の極である、俳し後等のは深 謎の極である、俳し後等の 大震と特性とに鑑みその常 大震と特性とに鑑みその常

猶太の急所衝け

り達觀して所信を明かにさ かである、此の際政府に認 むところは一に大魔高魔よ りを明ら

策を講究しズバリと急處を 利さうと企んである、世界 の三をその手に収めたのも 急魔を押へたためである、 借此度の

の意見でなく彼等の共通の をとは獨りピットマンのみ と是は獨りピットマンのみ ととは獨りピットマンのみ

を達するに相選ない、但し 出來なくなれば進んで御用

それまでには幾多の

て今後は登す之に全力を

ある、若しそれ勝敗の敷既に現助力を痛感する場合でに我助力を痛感する場合で

によった。 た」などと云はしむるに至 でする。、彼等は我が弱點は である、彼等は我が弱點は

各地株式市况

商况養

相手は理窟攻めの強か者

● 紫天株式 (短期) 寄行 大引 寄行 大引

出来た大学ナル香

一、健康を保持する 激刺たる心身を生む 病菌を驅逐する よくし、張趾剤と相俟つて肉健胃剤は胃を健全にし消化と 臭を去り精神を爽快にする 旺んにし、清凉剤は口中の墓 興奮劑は各機能の活動力を 間の張健を計る 諸種の病菌を膈逐して階層 を豫防する 口中殺菌剤は口より使入す 三大効用ノ 製剤顧問

特別、供給促進方を交渉の 株機關と交渉を閉始した補 保機關と交渉を閉始した補 現狀より見て協定數量(大 豆九十五萬トン、大豆粕百 変元十五萬トン、大豆粕百

賃銀、運營機關改革

各百斤輪入價格は左の如く 発可斤輪入價格は左の如く

の伴工業試験工場建設のたの伴工業試験工場建設のた 機材主要部分到着

養豚積極獎勵 一年の屠殺数ざつと『民の肉食は歪鞴一

現幹事長常野監理課長が満期退任、經理局長木村常次期退任、經理局長木村常次期退任、經理局長木村常次期退任、經理局長木村常次期退任、經理局長木村常次期退任、經理局長木村常次期退任、經理局長木村常次期退任、經理局長木村常次期退任、經理局長木村常次期退任、經濟事長常野監理課長が満

口滿砂糖交渉纒る を再三力説。供静時期につ 環保することになり、日本 側もこれを諒としたが、石 機場であるとになり、日本 側もこれを諒としたが、石 大活 前間係の関滑に行はれ るも現在日産三萬枚前後で るも現在日産三萬枚前後で 【○○廿六日發國通】建國 沿岸一帶に第八十、七十五 軍の特務工作はその後着々 新編第世各師を配置せしめ 薬功し去る十八日以來海澄 防備の强化に必死となつて 造州、南靖、漳浦、東山及 めるが、これに對し建國軍 でがの子が高されるに至つたが めてをり右の情勢下におい してからざる混亂を呈して る作戦に移るかは極めて興 中ある、一方支那側は建國軍 中ある、一方支那側は建國軍 中ある 一方支那側は建國軍 中ある 一番に第八十、七十五 一方支那側は建國軍 中ある 一番に移るかは極めて興 の攻撃に備へる ため福建省 てある 特務工作進展 紹安に民軍蜂起す

りの輸入量は

が、國内配給は中旬以後と ・ のは大體三月上旬入荷する ・ のは大體三月上旬入荷する

入は月別計畫によつて物

によって買ひませ

前にも述べた様に家庭経済は一家の主婦たる者の持済は一家の主婦たる者の持ちらしめる要請は一無戦を省いて」「有効にする」と省いて」「有効にする」とるよい。そして目むを得済的をなるたけ多く使はないやちに、そして目むを得ずの事であります。

ない。 ないでは、 ないでは、

なつて参りまし

つてゐる岩田引も、近頃問を祝つて締めることに懷姙五ヶ月の戌の日に、二

み込んで

育社の軍役をしてゐるAさ なに本年卅六歳になる或る

をですか(ネオン街の女) ゐる場合で直ぐにでの水いらず生活を織けるべ 夫と離舌の手織が完

姙婦に必要な

岩田帯にも時局な

母と子 II す

の母にあづけて 私は無智なカフェー 如何に

である州護の女です、飲め 野町の或るカフェーに働い 野町の或るカフェーに働い でな給生活を続ける見のやう を よフェーの女 最初の頃は客に手を握られ した

んに貸心もつて私と子供の 性話をしてくれると云はれ 再三再四お斷りしましたが 五はれましたこのAさんの 云はれましたこのAさんの

た人氏の好意を受くべきか はれますが、御相談を受け る當方としては現在親御様 中心とした法律との身分關

事は出来ません るの好意を受け は絶對▲氏の好意を受け はの好意を受け はに当女は はにより ないが第 はいがまりますが第 はいがまりますが第 はいるのです、 のが第 はいるのです。 のがまたるのです。 のがまたるです。 のがまたるです。 のがまたるです。 のがまたるです。 のがまたるです。 のがまたるです。 のがまたるです。 のがまたるでするです。 のがまたるでするです。 のがまたるでするです。 のがまたるでするです。 のがまたるでするです。 のがまたるでするです。 のがまたるでするでするです。 のがまたるでするです。 のがまたるでするでするです。 のがまたるでするです。 のがまたるでするです。 のがまたるでするです。 のがまたるでするです。 のがまたるでするです。 のがまたるでするです。 のがまたるでするでするです。 のがまたるでするでするです。 のがまたるでするでするでするでするです。 のがまたるでするでするでするでするです。 のがまたるでするでするでするです。 のがまたるでするでするでするでするでするでするです。 のでするでするでするでするでするでするです。 のでするでするでするでするです。 のでするでするでするでするでするでするでするです。 のでするでするでするでするでするです。 のでするでするでするでするです。 のでするでするでするです。 のでするでするでするでするでするです。 のでするでするです。 のでするでするでするです。 のでするでするでするでするです。 のでするでするでするです。 のでするでするです。 のでするでするでするです。 のでするでするでするでするです。 のでするでするです。 のでするでするでするでするでするです。 のでするでするでするです。 のでするでするでするでするです。 のでするでするです。 のでするでするでするでするです。 のでするでするですなでするです。 のでするでするです。 のでするでするです。 のですなでするです。 のでするです

來れ

あいのか、又 多くなつ事

七五議會

九十四億の財政の確す諸課題

白岩平

正英

題特輯

齋藤粉争と議

會の

映じ

生世界

田井

·歲百六千

汪精衛と經濟合作を語る獨逸の新切符制度

アメリカ

現代アメリカの實体米國政治組織の矛盾を行詰り

問題特輯

米國6對日眞意3國民6覺悟

豐

對ン外交。本義

助

田梓樓

今泉孝太郎

三宅

晴

日米通商問題と日本經濟

藤川早吉井田瀬村

わる何見つ供つ日もむ地六一仕は かの故らたよた本發人難四六歳れ りか環境にやり二人育は的に に を しまたも世でが低にに 知風よ

かとの思こ

最も表面積が廣いのです。 最も表面積は小さくなります、 表面積は小さくなります、

天龍 0 ス

1 水

岐路丘

1

日本勞働

制改

革

當

0

題

號大特月

維新革新の

足首 0

蜜柑

の荒れ療治

、命運の本日に共と念の祝慶るな甚深

窓

談

岡田啓介

ŋ

上海

だ

£ 1) .

北京

だ

(明治維新研究第三回)

羽

なりません。金銭と物 其の價値に於ては勿論 がは金銭の假りに姿を 物は金銭の假りに姿を 法を行ふとよろしいので さ、室梢は一房あれば澤 これをつぶして荒れた脚 にべつとり譲りつけます そのまゝお湯をかけて入 をしますとすべすべとき 落しますとすべすべとき 者しますとすべすべとき 本しますとすべすべとき れいになります、そして れから上つたらベルッ なるから上つたらベルッ なるから上ったらベルッ なるが多い位處方のよ のをお使ひ下さい のをお使ひ下さい のをお使ひ下さい。 のをお使び下さい。 のをお使び下さい。 のをおします。 段の昇り降りの ると衝物一枚位建ひます

速が有るものです。

2、品物は値打一杯に使用

(ハン物は金銭程保存が出くことがの計量は金銭の様には一定してるない。 以上四ツを考へて物の計量は金銭の様には一定してるない。 は上四ツを考へて物の選を正確にして、使ひ途に適する様に有効に使はねばなり (イ)物には相場の高低が 大變値打が選ぶものがあ 大響値打が選ぶものがあ がならぬものであります。 ため其の樹定(切り盛計量) は金銭勘定よりも一層油画 がならぬものであります。

*****これら見にここを意微の等我**

、秋のるナ要を意決大

ーし到を想に途前の歩國 卷頭 米内内閣への

袋

家庭經濟讀

本

守谷

俊夫

ル字を費るに料を使っ 小字を費るに料を使っ 上の者がありますが終 に関いる。 でご三朝を使っ でご三朝を使っ

するを使用せずとも別にも勉強したふらの品物の厚さ、選力、色の濃淡等の厚さ、選力、優の調査に必要ですが是は別になるのでは、 漢字を使用せずとも別にも勉強ですがという。

糖を五十銭

11

物で長さを改めるこ

用品は有効に消費す

は損

てどんなにして 間の發育は人口でとんなにして も人間が象のや

一箇の時は一少い程を見られ、それ と見ら

初潮は年齢に無關係

論文 **石炭飢饉** 街の人物評論 戰時經濟是最低 尾裔增 際文化事業への 保温生 取ふものの心 理 學界 3 学の三十 0 活の 提唱 國民生活

他所の恋 時文 評藝 年記 加賀耿二 正宗白鳥 石川達三 宇野 浩二 青野 金 素 中谷字吉郎 季 古 配舟後撲の サ玉五ノ 糊武 古谷







恒

風の

一石





音樂文化の前進

とを述立てなくても、一 である。むづかしいこ である。むづかしいこ

東の流行を生んだ満映ビカ が 1 実面 十九日満映の新 の日世界的スターと言ふ言

田中絹代堂々競演

13

日蘭を射めるは誰

文^壇、圓盤、映畫界 「氣三人男に問ふ

揃はぬと言

香蘭か

キャスト



「郡司大樹」(下) 「郡司大樹」(下) 局護木



在 一篠原雅之作、彦坂春濠洲を探險したタスマ 大、〇〇(東京)・子供の時間(十条除英傑傳(十 前線部隊 整理、編輯、 品され、

日本で弱を競ふ

洲出品

お節介なソ聯政府

曉に祈る 船の肚擧を多と 在留八千の邦人と言はな も後援 マーーッ勝政府は外貨 麻各地に数千萬間に上つてる ました世界的際業家シャリ マーーッ勝政府は外貨 麻各地に数千萬間に上つてる ました世界的際業家シャリ マーーッ勝政府は外貨 麻各地に数千萬間に上つてる はいばれてある が ジャリア・グルガリア、イタリー 現在生活してをりシャリアピッの遺産整理に乗り出した フョドワフチがモスクワに アルガリア、イタリー 現在生活してをりシャリアピー のはシャリアピンの第一夫 リー・ブルガリア、イタリー 現在生活してをりシャリアピー が フョドワフチがモスクワに が アルガリア、イタリー を確保し遺産はブルガリア を理由とするものであるが 露を確保し遺産はブルガリア を理由とするものであるが 露を確保し遺産はブルガリア を理由とするものであるが 露

の番組

か主張するが如く自由に整 大の財産管理にも巨大の影 響を與へるものとして白系 の場合は多大のショックル

てみた第二夫人マリヤ・シャリアピンは目下パリにあって遺言に基き遺産を整理せんとしてあるのでソ聯のこの意識が何處まで達成出来るか興味を以て見られてある。 シャリアピンの遺産がソ聯 シャリアピンは革命で亡命した りアピンは革命で亡命した

覆ふ翼」の美術監督は聖

海外映畫短信

場合に

不機嫌でムズかる時等に…… カンムシケの時、夜泣きする時 の悪い時

こんな

宇津救命丸育ちと 徴象の康健

松 交響曲第 たつた交響曲を作つたのは

9

送る

D

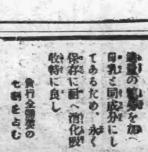
ゼン

v

"

が指揮

ピチピチした筋肉 病氣知らずの健康兄いつも元気で





等相続び、力を合はされ同じ 喜び を目指 してすない。 - 4

を語つたとの事である は、と語つたとの事である けれどそれらの事である は、は特の曲は初度されて終って、で、を では、は特の曲は初度されて終って、で、他音的な には特色を表すを響曲、 には特色を表すを響曲、 を関の解釋を限定したる。 を関の解釋を限定したとの事である。 を関の解釋を限定したもの現實的な と関の解釋を限定したとの事である。 を関の解釋を限定したとの事である。 を関の解釋を限定したとの事である。 を関の解釋を限定したといる。 を関の表現されて終って、と書き的な と書きを関定したといる。 と書きを表する。 と書きを表する。

|受主義に新生面を

株式會社玉置商店

會の兒育と養榮舖本ともかわ野量

就连连方千三篇皇本

斯界之絶品神代鍬印ライルメング

品質絕對優秀



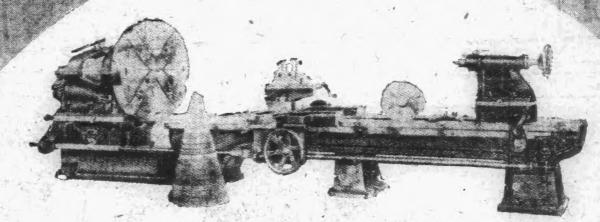
楼 酒井寬三商店機械部

大阪市西區西長堀北通四丁目 電話新町5620·5621·5622·5623·5624·5625番 出張所 大連市連鑽街廣小路 電話3.2255·2266

方所有例

旋盤ブレーナー

ポリルタルボーリングマシンボーツピングマシン

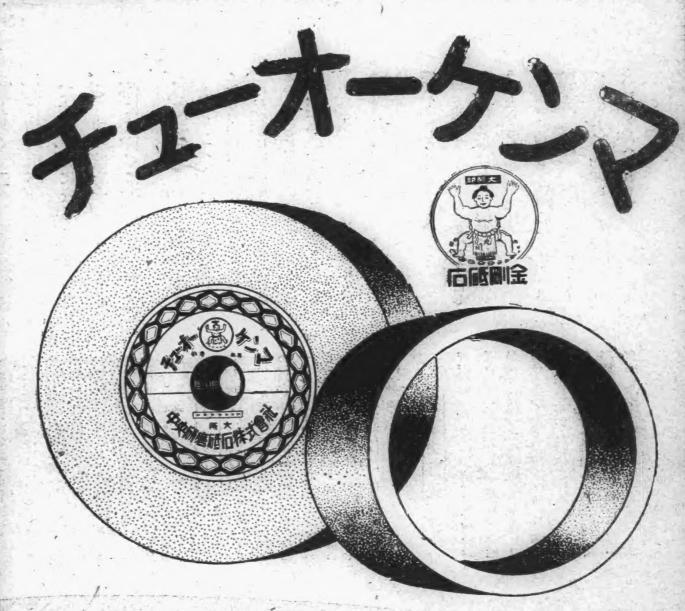


然尾形鐵工所

本 社 大阪府布施市高井田西一丁目一五番地電話大阪東二三二一番 振替口座大阪一〇一〇六九番第一工場 大阪府布施市高井田西一丁目一四番地第二工場 大阪府布施市高井田西一丁目一七番地



工 場 次阪府中河內郡巽村西足代字國分5—10



(中) 中央研磨砥石株式會社

本社營業所支社營業所

I

大阪市港區九條中通二丁目六二九 電話西五七五三番·三六一九番·振替大阪五八九三五番 大阪市西區新町通五丁目二 電話新町三一二六番·五一八七番 六阪南下北河內郡三鄉町,電話守口一七九番 殿するを言明しせり場の記一方市場會社關係者にも善一方市場會社關係者にも善加を惹起せざる事を確約し知を惹起せざる事を確約した。 対議的に受験を表現した。 ので表現せざる事を確約した。 ので表現せざる事を確約した。 ので表現したり場の記した。 ので表現したり場の記したり場の記した。 ので表現したり場の記したり場の記した。 ので表現したり場の記したり場の記した。 ので表現したり場の記したり場の記した。

脳部の責任飽まで追

録道各謀等に移

【寫真】 故岡田少將(興内)を佛前に語る

殉國

靈祈願

の忠

月下旬浦洲へ送4 と築井芳野櫻のまれ海道、樺太産の

墜手段嫌らず

記帳係處分のみの

搖れる市場會社

度仲依買

0

7

空の

至寶

寶藏寺部隊長

夫人が女中相手に淋しく習東京にあり○○の官舎には

をのみ語り多くを語らなか とのみ語り多くを語らなか とのみ語り多くを語らなか

される其日

を語る… 松谷より

し子さん

が知らせた

まるで夢

畏 陸士卒業式に 天皇陛下

州生の御前講演を約十 世等卒業生三好秀男+ 丁後一時より大講堂に 所謂、御書整御少瀬の が、御書整御少瀬の が、御書を のはせられ正年

慈愛にみ

の面影

偲ぶ○○部隊

刷をたてく電名を実 都近郊で列

資格

ピスト募集

市内に確實なる保證人を有する校卒業程度以上の學力ある日本

社式

策助さん妻キタ(III)され後三時頃曙町四ノー中西では、中後三時頃曙町四ノー中西 窓口の掏摸 有希望者に自筆履歴書持参二十九日午前十時より午後五時迄の間に出頭相成度

日満を結

ぶ

波のテ

建國節慶祝ブ

を開けたまゝ持つてゐた耳を開けたまゝ持つてゐた耳を開けたまゝ持つてゐた耳 詳細

電氣機具、オーバーの水を具類、モーター、産家具類、モーター、産

太隆地の

さくら餅は

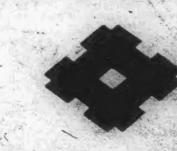
重 **王**

H

與亞媛房合資會社

水貨事務所利は左記へ御照會下でい

第第第



興徳銀行マー

率天市加茂町一七

日ある 質なき関面 事中で 暗然、勝枝未亡人 は覺悟

『京城園通』重要任務を帶 びて〇〇に向ふ途中去る廿 五日京都で肚烈な殉職を遂 げた饗蔵寺中將の遺骨を弾 へに行く勝枝夫人を廿七日 午後一時五十分京城驛通過 の列車中に訪れると、さす が武人の夫人らしく言乗少 なに

既に一身を御國のために一五人で、 八、成城中四下 二男禮 (一、 人 (四八) 長男忠 (二一、 人 (四八) 長男忠 (二一、 留守宅の悲嘆

的な風格のある護厳な武人

て少野の生前を語る でしてなりませんでした、 してなりませんでした、 してなりませんでした、

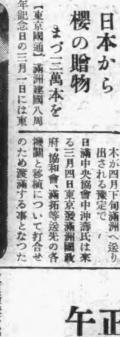
ひ居のにま酒

歌寺中將の輔佐役として名。 て少耕の生 天に殉職した岡田少將は簀。よし子(二)

一一つ さんが代つ

令息令鰈は何れる一谷政次郎氏夫妻 自た関末のでは、 として上下の信望を集めて あたが、○○の饗滅寺中將 と隣合せた少將の官舎には まだ前任地の豪遷嘉義に家 族が幾つて居られるため生 りかり別遇を得てゐため

然人



日 午のサイレン吹鳴と同時 最後勝士の英霊に對し感 と敬虔なる新を挙げたの

なほ子繭八時州分から新 なほ子繭では陸軍記念日奉 告祭が監粛に行はだ午前 た在郷軍人、長勇會、義勇 を会議、第一學生區職、 第二學生區職、

らなる記念日祝福を行ふこ

午後一時武道大會、午後二 三時露軍職疫者慰靈祭を寛 三時露軍職疫者慰靈祭を寛 が子記念碑前で執行するな ど終日軍國一大繪卷をくり ひろげることになつた「窓

死人デ

1-

の 張總理夫人らの 張總理夫人ら 國家總理夫人、関防と治安の第一線により 医夫人、関系總理天人、張司法部大 関系總理天人、張司法部大 関系總理来入、張司法部大 関系總承都選事亦木夫人等 計能名の慰問國が十七日午 新春名の慰問國が十七日午 新春名の慰問國が十七日午 新春

神内吉野町二丁目アの 一部内吉野町二丁目アの 一個質者離竹三郎さんは日露 一個で表別士で現に長春會 一個であず七日浦赤事業

巾の善處要望さる

慰問を行つた

満赤へ寄附って

品

號制

に對する

のふ警護隊

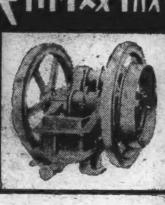
気・き・天・け・ 2. か. 氣. の. 時々曇り

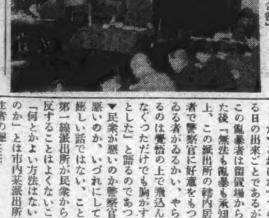
最低零下三波九

在庫豐富 乞御照會

ガタログ

株式 會社 松田清商店機械部 新京新設路一〇九號





體行事決 3

新 から陽東軍軍衆職の初演奏 (八時十分)を日本に受 を電波に託する、 など日満交互に建園 を電波に託する、

樂拂店 **資借對照表**

112° <00 * 00 M- 900-CO



帝望者は履歴書持参本人直接御希望者は履歴書持参本人直接御数名 新京日日新聞社

來右談希

年龄廿五岁

第三回決算公告

卅一日現在

口人第三學年代數、幾何、作文、口頭問人第二學年代數、幾何、作文、口頭 上午 中等學校三年終了程復年率業以上 日本高等小學校高等科學年 日本高等小學校高等科學等與上

試驗科目 募集人員



台式

本日京新 川 品

ドシーへ身に付いて血色はよく 動出来るやうになつたのも、動 動出来るやうになつたのも、動 出来るやうになつたのも、動

い顔をしてのた

なる、確重は増える、夜はよく

度化禮婚師

裳衣・ラヅカ貸

術顏美報外赤

り通街ヤイダ